

競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は2019年日本陸上競技連盟規則および本大会要項に従って行う。
- 2 選手の招集について
 - (1) **トラック競技の招集場所は、それぞれのスタート地点とする。**但し、10レーン以降のレーンで走る選手は、スタート前に100mスタート地点近くの競技者係から腰ナンバーカードを借り受けてからスタート地点へ移動する。
 - (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、全てその競技の開始時刻を基準として次の通りとする。但し、参加人数の少ないフィールド競技は別途定める。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	20分前	10分前
フィールド競技	40分前	30分前

- (3) 招集方法
 - ・点呼は時間を守り、必ず本人が行くこと。出場種目が重なる場合は事前点呼を行うこと。
 - ・招集完了時刻に遅れた選手は、当該競技種目を棄権したものとみなす。

<トラック競技>

 - ・スタート地点にいる審判から種目・組・レーン・氏名を確認してもらう。
 - ・点呼が終了しても、勝手に移動せず、審判の指示に従う。

<フィールド競技>

 - ・競技の進行に注意し、各競技場所に時間まで集合する。
 - ・競技場所において、審判員に点呼を受ける。
 - ・点呼が終了しても、勝手に移動せず、審判員の指示に従う。
- 3 トラック競技について
 - (1) 同種目でも、組によって点呼時間が異なるので注意する。
 - (2) **800m以上の種目に出場する選手のうち、10レーン以降のレーンで走る生徒は、スタート前に競技者係より腰ナンバーカードを借り受け、短パン右腰やや後ろにつける。**フィニッシュ後、各自で点呼場所の所定の場所に戻す。それ以外の選手は各自・各学校で準備した腰ナンバーカードを使用すること。
 - (3) 事故防止のため、短距離ではフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走る。
 - (4) リレーのオーダーは次の時間通りに競技者係へ提出する。

各ラウンドの1組目の招集完了時刻の60分前まで

- (5) トラック競技の準決勝・決勝の走路順は本部において抽選決定し掲示する。
 - (6) トラック競技のプラスアルファが規定数より多いときは本部にて抽選とする。
 - (7) 男女800m予選は安全確保のため、階段スタートで行う。
 - (8) A B決勝のある種目は予選のタイムの上位8名がA決勝、9位～16位がB決勝となり、表彰者はA決勝が対象となる。
- 4 フィールド競技について
 - (1) 走高跳のバーの上げ方は以下の通り。
男子A（練習1m45） 1m50（以後5cm上がり） 1m75以後3cm上がりとする。
男子B（練習1m30） 1m35（以後5cm上がり） 1m50以後3cm上がりとする。
女子A（練習1m25） 1m30（以後5cm上がり） 1m50以後3cm上がりとする。
女子B（練習1m15） 1m20（以後5cm上がり） 1m35以後3cm上がりとする。
 - (2) 棒高跳びのバーの上げ方は以下の通り。
2m30 20cmあげ 2m70以後10cmあげ
 - (3) 男女B走幅跳と女子B砲丸投は予選を行う。予選通過標準記録と計測ラインは以下の通り。
予選通過標準記録 走幅跳 B男子 5m00 B女子 4m20 計測ライン B男子 4m20 B女子 3m40 女子B砲丸投予選通過標準記録7m50、計測ライン6m00
 - (4) 男女B走幅跳予選および男女B走高跳はA・Bピットを使用する。
 - (5) 予選通過の標準記録を超えたものが12名に満たない場合は、上位12名及び12番目と同順位の競技者を決勝に出場させる。
 - 5 その他
 - (1) 優勝者には記念品とTシャツを授与します（大会当日サイズを記入し、新人戦大会で配布予定）。また、8位までの入賞者には賞状を授与します。賞状は新人戦の際に学校単位でまとめて配布する予定です。
 - (2) 表彰は決勝終了後ただちに行うので、3位までに入賞した選手はそのまま本部前に集合すること。他の種目と重なって出られないときは代理の者を出すこと。
 - (3) 選手以外の者は、絶対、競技場内に立ち入らないこと（特に本部前は通行禁止）。
 - (4) 自分のごみは持ち帰ること。
 - (5) 1500mで周回遅れになった競技者には、競技を中止させる。3000mでは、先頭の走者が2600mを通過する前に周回遅れとなった競技者には、競技を中止させる。但し、プラスアルファに支障をきたす場合は、この限りではない。